新理事長に山田氏

鹿児島電気工事業協組総会

山田 晴彬新理事長

鹿児島電気工事業協同組合の第46回通常総会は10日、鹿児島市のステーションホテルニューカゴシマで開き、技術提案型営業の展開を柱とする15年度事業計画を決めた。また、この11年間理事長を務めてきた中島博夫氏が辞任、新理事長に山田晴彬氏が就任したことも報告された。

総会は、濱田英俊議長、三浦哲男副議長で始まり、中島氏が「県電気工事業工業組合理事長、全九州電気工事業協会副会長等々、職務多忙であり、6期目の半ばながら鹿児島協組理事長を辞任することになった。今後は若い役員を中心に組合を活性化し、新設工事のない状況下、電気設備の改修、使い勝手のよい電化製品の普及に努めて頂きたい」と挨拶した。

新年度事業計画は、新規に技術提案営業の推進を掲げ、顧客台帳に基づき得意先を訪問、省エネ、リフォーム等の需要開拓を図る。また、引き続き、深夜電力の利用促進、安全管理・技術講習会の開催、若年技能者の育成などを行う。

4月16日の理事会では、中島理事長の辞任を承認、新しい理事長に山田副理事長の昇格を決めた。これに伴い、副理事長に安楽勉氏、技術部長に倉園通生氏が、それぞれ就任した。

山田新理事長は「任期半ばで組合の舵（かじ）とりをまかされ、大役に身の引き締まる思いです。会員の生の声を聞き、知恵を出し合って難局をのり切っていきたい」と抱負を述べた。

各種表彰者は次の通り。

役員表彰＝春山紀生（親栄電設㈱、役員歴20年）栗牧典臣（㈱栗牧電設、同16年）新名浩一（㈾協和電気商会、同4年）▽事業所表彰＝㈲根元電気（根元勇一）㈲元山電気商会（元山勝彦）宮下電気商会（宮下重満）㈱マツオ電設（松尾悦朗）㈲鹿児島ネオン管製作所（福元秀則）▽20年以上勤続表彰＝福田吉翁 荷方博幸（㈱親和電機）長野博美（牧山電気設備㈱）茶圓博行（㈱フジヤマ）前田悟 十田哲郎 宮里和幸 永尾哲郎（㈱明興テクノス）南之園敏明（㈲池田電設）福永清已（㈲堀脇電設）橋口清則（㈱日本電業社）▽10年以上同＝湯浅利行（山田電気㈱）岩永重久 福永進（南栄電機㈱）前野正樹 瀬角巡幸 小園六郎 中屋努 中村幸輝（㈱南日本総合サービス）木戸口豊（㈱栄電社）岡崎浩次（㈱栗牧電設）二俣裕二（八栄電設㈱）福嶋純一郎 八木晴美 上脇征穂（㈱親和電機）尾ノ上健 黒木秀一 下荒磯利之 山下勉（マルサン工業㈱）竹山宏 中村彰利 下野和義 上岡一一三（㈱中島電器）池田英樹（㈱フジヤマ）脇田卓巳 山田晶和 田平豊（㈱南日本電設）米原丈将（大福電設㈱）小原康幸（㈲堀脇電設）姫嶋奉文 尾脇聖子（㈱大鹿電業）今村和彦（㈲今村電水工業）

新たな展開で難局を乗り切ることを誓い合った総会
＝鹿児島市のステーションホテルニューカゴシマで

一致団結してこの難局を乗り切ろう――と呼びかける竹迫支部長＝鹿児島市の城山観光ホテルで

日本塗装工業会県支部総会

一致団結、難局突破を

日本塗装工業会県支部（竹迫為雄支部長）は12日、鹿児島市の城山観光ホテルで15年度定時総会を開き、官公庁工事の分離発注陳情やペインテナンスキャンペーン推進などを柱とする新年度事業計画を決めた。

総会では、初めに物故者に黙とうを捧げた後、竹迫支部長が「厳しい情勢ではあるが、共同企業体での受注や他と違う特徴を打ち出し提供していくことが必要。今後も、技術向上や資格取得などに努め、一致団結してこの難局を乗り切ろう」と挨拶。濱園茂木本部理事は「今年で4年目を迎えたペインテナンスキャンペーンにも積極的に参加していこう」などと呼び掛けた。

続いて、新入会員の冨永雄公氏（㈲小瀬塗装店）、立山憲二氏（㈲立山塗装）が紹介された後、竹迫支部長を議長に選出し、14年度事業・収支決算報告、15年度事業計画・収支予算案等を審議、原案通り可決承認した。

新年度事業計画は、①官公庁工事の分離発注陳情②戸建住宅等の塗り替え促進（ペインテナンスキャンペーン推進）③新規工事の調査研究及びPR活動―などを柱とする。

川薩電気工事業協組青年部総会

提案型技術営業に活路

川薩電気工事業協同組合青年部（関雄太部長）は9日、川内市の川内ホテルで15年度第7回総会を開き、永留博文氏（㈲永留電気）を議長に高齢者住宅設備無料点検等の活動計画を決めた。また今年度は新会員3人が加入、会員数は28人になった。司会は海江田純一氏（海江田電機㈱）。

関部長（㈲関電気商会）は「今年2月、全国電工連全国青年部協議会に出席する機会があり、全国の会員と話し合ってきた。生き残るためには、提案型技術営業の必要性を痛感した。いろいろな意見を出し合い、仲間意識をもって今年も積極的な活動をしていこう」と呼びかけた。

事務局の田原繁氏（㈲田原電設）から、今年8月に川内市で4単協意見交換会の開催、9月には恒例の高齢者住宅設備無料点検の実施、ロードミラー清掃（平成16年4月に東郷町地区）を実施するなどの活動計画が報告された。会員から「こういう厳しい状況だから会の元気のあるところをアピールするためにも、海を越えて甑島地区への奉仕活動はどうか」といった積極的な提案もあった。

遠矢憲治氏（㈲遠矢電機）が監査報告をした。

懇親会は初代青年部長の福重安治氏（㈱福重電工）の乾杯の発声で開宴、永留氏の一本締めで閉会した。

新会員は次の通り。

松迫努（㈲T・M・E）田中亨（㈲田中電設）崎本正剛（崎本でんき）

恒例の奉仕活動などを決めた総会
＝川内市の川内ホテルで

建退共の利点周知を

内田 冨雄さん

県建設業協会からの出向で、この4月から事務局長を務めています。建退共との出合いは、同制度が始まり、本県に導入された昭和39年頃だったと思います。当時、建設業協会に就職したばかり。協会本部も鹿児島市中町にあり、そこで事務手続きの手伝いをしてきました。

昨今の不況を反映し、倒産やリストラに伴う退職金の請求が増えており、朝7時半には出勤し、請求書の手配、退職金の請求手続き業務に追われています。

建退共に加入し、履行証明書を添付すると、経審の点数が加算されます。これには、共済証紙受払簿等の提出が必要であり、そのことをご存知ない方もあるようです。経営者研修会などを通じ、制度のメリットを啓発できればと考えています。

（建退共県支部事務局長）

県電設資材卸業協組総会

利益生む事業を推進

新年度事業計画等を決めた総会
＝鹿児島市のグリーンホテル錦生館

県電設資材卸業協同組合（小山田吉治理事長）は12日、鹿児島市のグリーンホテル錦生館で第16回通常総会を開き、電材や各種研修会の実施などを柱とする新年度事業計画を決めた。

総会では、初めに小山田理事長が「組合として必要がある。電気というものは、人々の生活にはなくてはならないものであり、経済状況が厳しい中で、対応できる協力体制を築き、組合員の一層の信頼と結束で乗り切っていこう」と挨拶。

続いて、小山田理事長を議長に議事に入り、14年度事業報告及び決算報告、15年度事業計画及び収支予算案などを審議し、全て執行部原案通り可決承認した。

新年度事業計画は、今年度は業界発展を組合活動の柱とし、組合員の利益につながる事業推進に努め、①電材会・実務者会の定期開催②研修・情報提供③組合員及び組合員社員の福利厚生④組合員と賛助会員との交流⑤工事組合及び関連団体との交流及び会議の開催―などを掲げている。